

さわやか

S A W A Y A K A

西美濃厚生病院だより

第82号

平成29年1月



|病院の理念|

私たちは今、三つの「想い」を育んでいます。

- 1.患者さんへの「想い」
温もりと対話のある医療を実践します。
- 2.地域社会への「想い」
地域に有用な医療機関として社会に貢献します。
- 3.病院への「想い」
良質な医療を提供し、信頼される病院を目指します。
これが私たち西美濃厚生病院の理念です。



目次

- 岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長
堀尾 茂之「年頭のご挨拶」
- 病院長 飯田 辰美
「平成29年を迎えて」
- 内科医長 馬場 厚
「着任のあいさつ」
- 薬剤科 瀬古 高行
「薬を安全にご使用いただくために」
- 糖尿病教室のご案内
- 外来診療担当医一覧表

年頭のご挨拶



岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長

堀尾 茂之

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。平成29年の年頭にあたり、皆様に一言ご挨拶申し上げます。

社会保障と税の一体改革に基づく、消費税率10%への引き上げによる増収分は年金、医療、介護など社会保障の施策に充当される予定でしたが、平成31年10月まで延期が決定され、社会保障施策への影響は避けられない見通しとなりました。一方、経済財政運営の指針「経済財政運営と改革の基本方針」においては、平成32年度の国・地方の基礎的財政収支を黒字化する目標は堅持されることとなったため、今後も制度改正等による財源の捻出が必要であり、今まで以上に踏み込んだ社会保障費の歳出見直しが予測されております。

また、国は今後の少子高齢化社会に向けた施策として「日本再興戦略2015」等において「健康寿命の延伸する社会」の構築を目指しており、地域の行政においても高齢者の介護予防の推進、現役世代からの健康づくり対策の推進等について積極的な取組みを推進しています。

岐阜県においては、今後の人口推計をもとに平成37年度の医療需要を推計し、医療機能別の必要病床数などを示した地域医療構想を昨年7月に策定しました。県内全ての二次医療圏において現状の病床数が必要病床数を上回っていることから、今後は病床再編・病院統合などによる医療資源の集約化や病床規模の適正化が進むものと予測されます。

こうした状況において本会は、地域医療構想の方向性を踏まえ、各地域において自院の医療機能を明確にするとともに、公的医療機関として地域に必要な医療を継続的かつ安定的に提供できるよう取り組んでまいります。また、入院から在宅への円滑な移行と医療・介護・福祉サービスの継続的な提供が可能となるよう、地域の行政機関や医療・介護施設等との連携を更に強化し、地域医療の確保と充実に努めてまいります。また、本年以降は特に「健康寿命の延伸」に向けて健康推進事業の支援やがん検診の普及啓発活動に貢献していく所存であります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心より祈念申し上げますとともに、引き続き本会事業にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



病院長	飯田 辰美
事務局長	佐藤 義勝
副院長	岡野 学
副院長	西脇 伸二
看護部長	高木 良里子
	職員一同

新春を迎え
皆様のご健康と
ご多幸を
心よりお祈り
申し上げます。

謹んで新春の
お慶びを
申し上げます

平成29年を迎えて



病院長 飯田 辰美

新春を寿ぎ、心よりお喜び申し上げます。平成29年も無事明けて、皆様方におかれましては健やかな一年が過ごせますよう心より祈念いたしております。堀尾茂之厚生連会長・藤井歳也厚生連理事長のもと職員一丸となって、地域医療に邁進致す所存であります。

リオ五輪でのメダルラッシュ、小池劇場と東京五輪の会場選定と、五輪の話題で過ぎた平成28年でした。そして想定外の世界的事件はイギリスのEU離脱とトランプ米大統領の勝利でした。のしかかるIS・シリア難民問題はヨーロッパの国々の社会生活を脅かすほどの脅威になってきて、イギリス、ドイツ、フランスのみならずイタリア、オーストリアなど、ヨーロッパ中を右傾化させるほどの圧力となっています。日本周辺やアジアに緊張をもたらす中国・ロシア・韓国・北朝鮮にホットなフィリピンの動きが加わり、今でもご苦労されている熊本や山陰の地震・阿蘇山の噴火が遠い昔のことのように感じられます。金メダルラッシュやノーベル賞受賞が希望や勇気を与えて

くれました。安倍首相の真珠湾訪問も前向きな一歩ととらえられています。世界中で、平成28年ほど政治的正義・公正が問われた年はありませんでした。想定外、まさか、の連続は次の一手を準備していない突発的変化を示しており、単なる破壊であってはいけないことを警告しています。想定外の政変はフィリピン、イギリス、米国、イタリア、東京都、韓国と続きました。私たち庶民が本当に国や人々のことを思って選択したのだろうか、すなわち、政治的正義や公正ということ考えたのだろうか問われる年でした。変革は、病院でも同様で、本当に患者さん・医療者・地域のためになるのであろうか、が問われることとなります。

平成28年、当院は3つのハードルに挑戦し、これを越えました。目標であり、想定内の変革でした。一つは地域医療構想に基づく調整会議での急性期ベッドの削減案でありました。近隣の病院での削減・廃止が相次ぎ、逆に当院は急性期医療の充実を考えなければならない立場となりつつあります。二つ目はベッド再編にも関連しますが、安全安心を担保できる7対1看護基準を維持する医療の継続でした。看護必要度25%以上を確保せよとの規定をクリアし、今しばらくこの看護基準を継続し、西濃地域の医療に貢献できそうです。もう一つのハードルは電子カルテの導入でありました。遅ればせながら、半年ほどの準備期間と高額な予算を計上し、平成28年11月に開始いたしました。コンピューター世代・IT世代の患者様・医療者に遺漏なく情報伝達ができ、受診しやすく・医療しやすい環境の一環ができつつあります。四苦八苦でしたが無事、稼働しだし、このハードルもクリアできてきました。

平成29年はこの変革の始まりを進展させる年と考え、さらには新たな変革を生み出す年でもあります。電カル化による症例減から脱し、若手医師を中心とした人材確保に努めなければなりません。電子カルテ化の大きな目標の一つが、若手医療者に対応したデジタル環境の提供だからであります。

一方、日本の人口減は地方でより加速され、西濃圏域でもその傾向は例外ではありません。しかし、75歳以上の高齢者人口は逆に地方で増加が著しく、これも全国的傾向であります。医療圏域調整会議は人口減を受けて、病床の削減・在宅介護への転換を指導していますが、現状は、有病率の高い高齢者が激増し、医療病床のニーズが上昇し、急性期病床の急激な削減に合わない部分も生じております。地域医療・介護のニーズは急性期医療から在宅介護まで幅広くあって、ある領域に特化するのには、大都会の施設では効率的かもしれませんが、移動手段の少ない地域の人たちや施設にとっては、極めて不便で、非効率のように思えます。

移動手段や道路網の発達で確かに人々の移動時間は短縮され、日本も地球も狭くなったと言われます。ところが車にも乗れない、家族も近くにいる高齢者にとって、目の前の高速道路の恩恵は届きません。こうした高齢者が急激

に増加し、こうした高齢者を支える若者が急激に減少するなかで、医療は対応を迫られているわけでありです。急性期・慢性期という役割分担の一言でかたづけられない身近で気軽に利用出来る幅広い医療が必要です。現実ではこうしたニーズを持ったお年寄りが増加しています。こうしたニーズに対応するのが西美濃厚生病院なのであります。

今年も「夢と希望と目標」を旨に、15診療科315床、西南濃地区の基幹病院として、多くの専門医・専門スタッフ、最新機器を有する急性期病院として地域医療を担ってゆきます。知識・技術の研鑽を行いつつ、診察枠の増加などスタッフの充実にも努めてまいります。胃癌のABC健診・健診センターによる早期診断のみならず、内視鏡センターでの低侵襲な内視鏡治療も充実してきました。さらに電子カルテ化で、放射線科医師の専門的な高い診断能の援助が得られ、情報の短時間での共有化も生まれてきました。

さらには地域に密着して、救急患者さんの受け入れをよりスムーズにできるよう、一般急性期病床はフル稼働できる体制を維持しています。高齢や病状の変化や認知症により、療養施設での生活が難しくなった方には、地域包括ケア病棟がいつでも受け入れ体制を整えています。さらに長期の療養を要する方には療養病床での、柔軟な入院治療も可能であります。

近隣の医療機関と連携し、先進医療機器を共同活用していただき、救急や健診活動や訪問看護など地域とつながる多様な医療活動にもつなげて行ければと今年も頑張っております。3大疾病である癌に立ち向かい、各科で癌専門医を有しています。癌治療認定医機構認定施設として癌治療にも引き続き力を入れていきます。

もっとも手厚い7対1看護で、安全を担保した急性期医療を軸に、地元で一貫した医療が受けられること、すなわち「地診地療」を今年も展開します。これこそが患者様・医療者双方に安心感・信頼感・自信をもたらします。人材・病院・地域医療のバランスのとれた進歩を職員一同日々目指しております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

着任のあいさつ



内科医長 馬場 厚

はじめまして。平成28年10月1日より、内科医長に着任致しました馬場厚と申します。よろしくお願いいたします。私は、岐阜大学第一内科に所属し、これまで主に岐阜県内の病院にて診療しておりました。

さて、生涯でがんになる割合は40～50%あると言われております。中でも、胃がん・大腸がん・肝臓がんは上位を占めております。これらのがんを発見しようと考えますとどうしても内視鏡検査が必要となります。私はこれまでは内科の中でも、消化器内科を中心に診療しておりました。当院でも胃カメラや大腸カメラなどの内視鏡検査を行っていきたくて考えております。内視鏡検査と聞きますと、「苦しい」「大変」といったお考えを持たれる方もいらっしゃると思われれます。しかし、当院では鎮静剤の使用や胃カメラでは経鼻内視鏡を使用したりと、比較的苦痛なく行えるように工夫されております。ご希望がございましたらぜひご相談頂ければと思います。

その他の消化器領域の疾患と言いますと、肝臓・胆のう・膵臓があるかと思えます。こちらに関しても、各治療が可能な病院であるためご心配なことがあればぜひご相談頂ければと思います。

他、一般的な内科外来や検診等も行っております。高血圧や糖尿病等いわゆる生活習慣病でお困りの方やご心配がございましたら気軽にご相談頂ければと思います。

さて、当院も平成28年11月より電子カルテが導入されました。これにより、業務の効率化を進めることで、みなさまがより受診しやすい病院を目指しております。

微力ながら地域医療に貢献していきたいと存じますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

薬を安全にご使用いただくために



薬剤科 瀬古 高行

薬は副作用を伴います。薬は副作用が強いと結果として毒になることもあると考えられます。

いきなり驚かせてしまったかもしれませんが、薬にかぎらず作用と副作用は常に表裏一体であり、大変便利な自動車さえ、一つ間違えれば大きな事故を招きます。

それでは、薬と毒にはどのような違いがあるのでしょうか。これを見極めることができれば、薬についてより深く理解できるようになります。

「薬と毒物は全く別物」と考えている人もいるかもしれませんが、しかし「薬と毒物」は必ずしも違うものではありません。人々の命を救う薬でも使い方を間違えれば毒になります。

モルヒネという薬をご存じでしょうか。モルヒネは適正に使用することで、がんに伴う辛い痛みに対する有用な鎮痛剤となります。がんの患者さんにとっては生活の質を大幅に改善することのできる薬です。しかし、使用方法を間違えれば重大な副作用をおこす薬でもあります。

また、抗生物質を思い浮かべれば薬と毒の関係が理解しやすいかもしれません。抗生物質は細菌を攻撃しますが、ヒトにはほとんど影響を与えないように設計されています。つまり、抗生物質はヒトにとっては薬となり、細菌にとっては毒となるのです。

一方で、副作用はなにもかもが悪いわけではありません。風邪薬の中には副作用として眠気を促す作用をもつ薬があります。日々忙しい方々にとっては厄介な副作用なのですが、体を休めてほしいと願う家族にとっては、この副作用はどちらかという歓迎されるべき“有効な作用”なのかもしれません。このように、代表的な副作用も視点を変えると作用となり得るわけです。

作用と副作用は紙一重です。同様に、薬と毒も紙一重なのかもしれません。

副作用のことばかりを取り上げて、薬は危険という人もいます。薬の副作用で苦しんでいる人がいるのは確かに事実です。しかし、それ以上の尊い命が薬によって助かっていることを忘れてはいけません。

大切なことは、薬と上手につきあうという事です。

当院では、薬と上手につき合っていくために、必要に応じて薬剤師が薬の説明をさせていただいております。薬の基本的な飲み方から飲み合わせまで、気になることがありましたら、お気軽にご相談下さい。

糖尿病教室のご案内

健診センター 3階 講義室

開始時間 13:00～

月/日	内容	担当	月/日	内容	担当	月/日	内容	担当
1/19 (木)	糖尿病からくる目の病気	眼科医師	2/16 (木)	日常生活の工夫	看護師	3/16 (木)	ランチバイキング (参加費600円 要予約) ・ご自宅で使用しているお茶碗の持参をお勧めします (食事後に血糖測定を行います。)	管理栄養士
	食事量の実施メニューの紹介	管理栄養士		血糖測定器具の取扱い	臨床検査技師		簡単にできる運動の実践 (動きやすい服装で)	理学療法士
				間食・カロリー別外食	管理栄養士			

外来診療担当医一覧表

受付時間 午前8時30分～午前11時30分 ※救急の場合はこの限りではありません。 平成29年1月1日現在

診察科	曜日	月	火	水	木	金
内科	1 診	畠 山	田上/西脇(pm)	西 脇	若 山	林
	2 診	西 脇	岩 下	中 村	林	田 上
	3 診	前 田	前 田	馬 場	西 脇	前 田
	4 診	林	畠 山	田 上	畠 山	岩 下
	5 診(初診)	田 上	西 脇	林	前 田	畠 山
	血液外来		大学医師 (第2・4火曜日午後)			
	循環器内科		大学医師 8:30～11:00		代務医師 8:30～11:00	大学医師 8:30～11:00
禁煙外来					前 田 (予約制)	
外科	1 診	飯 田	二 村	飯 田	飯 田	二 村
	2 診	岡 田	岡 田	岡 田	二 村	岡 田
整形外科	1 診	熊 澤 (予約制)	馬 場	リウマチ外来	熊 澤 (予約制)	四 戸
	2 診	馬 場	熊 澤	四 戸	四 戸	馬 場
小児科	午前	井 上	井 上	井 上	井 上	井 上
	午後	予防接種 (予約制)		予防接種 (予約制)		
眼科	午前	松 原	松 原	松 原	松 原	松 原
	午後				学童外来 (15:30～16:30)	
耳鼻咽喉科		大学医師 午前 (9:00～11:00)			大学医師 午前 (9:00～11:00)	
婦人科				大学医師 午前(予約制)		代務医師
皮膚科		福 嶋	福 嶋	福 嶋	福 嶋	福 嶋
泌尿器科		岡 野	大学医師	岡 野	岡 野	岡 野
麻酔科		濱 屋	濱 屋	濱 屋	濱 屋	濱 屋
胸部外科					大学医師 午後第2・4	
脳神経外科				大学医師 午後		
歯科口腔外科	1 診	杉 山	杉 山	杉 山	杉 山	杉 山
	2 診	大学医師				

休診日／土曜・日曜・祝日・年末年始

※毎月、医事課窓口
保険証のご提示をお願いします。

当院では
各種健診を
行っています。
お気軽に
お尋ね下さい。

*年に一度はご自分の健康状態を把握するために、
健康診断を受診しましょう。

- ・入院ドック(一泊二日ドック)
- ・外来ドック(半日ドック)
- ・肺がんドック
- ・各種定期健診

お問い合わせ
地域保健課まで
月曜～金曜 8:30～17:00
TEL.0584-33-2175
FAX.0584-33-2176

*健診終了後、ご希望の方を対象に保健師・管理栄養士による生活指導を行っています。
ご希望の方は受付の際にお申し出下さい。

看護師募集中

☎0584-32-1161

詳しくは病院企画総務課まで
お尋ねください。

ボランティア募集中

ボランティアの方を
募集します。

詳しくは病院企画総務課まで
お尋ねください。



岐阜県厚生連病院所在地

久美愛厚生病院
高山市中切町

高山厚生病院
高山市山口町

岐北厚生病院
山泉市高富

中濃厚生病院
関市石阜通

東濃厚生病院
瑞浪市土岐町

西美濃厚生病院
養老郡養老町

揖斐厚生病院
揖斐郡揖斐川町